

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 6月 10日

【評価実施概要】

事業所番号	2872300419		
法人名	有限会社 豊地質		
事業所名	グループホームゆたかの郷		
所在地	〒673-0423 三木市宿原1263-86 (電話) 0794-83-8552		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2009年4月30日	評価確定日	2009年6月10日

【情報提供票より】(2009年4月3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 5月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	8 人	常勤 4人, 非常勤 4人, 常勤換算 4人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋鉄骨 造り
	3階一部2階建て1・2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,750~40,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(200,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	210 円	昼食	315 円
	夕食	525 円	おやつ	105 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(4月3日現在)

利用者人数	8名	男性	0名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.8歳	最低	73歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三木山陽病院、おおにし歯科医院、なんばクリニック
---------	--------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・ホームは市街の静かな住宅地にあり、管理者夫妻の自宅でもある。永年地域で自治会活動などに携わるなど現在も貢献している。近隣との付き合いは古く顔馴染みの関係ができています。職員もほぼ固定しており利用者ともども家族のように一緒に温泉に行き、食事を楽しんだりと普通に日常生活を過ごしている。管理者は園芸が趣味で、ホームはいつも季節の花に囲まれ、旬の食材を使った食事など利用者の栄養管理、また清潔保持にも注意している。身体状況の低下を遅らせるために日常的に残存能力を活かしたケアに努め、利用者が少しでも長くホームで家族として生活できるよう努力している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)	・ホーム広報誌(花便り)の発行回数を増やした。自己評価は職員の意見を基にまとめられ関わりを深めた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)	・管理者が職員からの意見を基にまとめた。職員は日ごろの業務の振り返りとして出来ていること出来ていないことを自分で再認識できる貴重な機会ととらえた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)	・地域の民生委員やボランティア、地域包括支援センターの職員、家族代表等が出席している。ホームからは事務連絡と行事報告が主で、家族からは、利用者の様子や時々の対応について意見交換している。
	重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)	・家族が来訪したおりには、居室で利用者と一緒にくつろぎ、話ができるように配慮している。その後家族から、希望や困ったことなどできるだけ聞かせてもらうよう努めている。
	重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・「地域社会とのつながりを大切に、地域の方との交流会等を楽しんでいただき、よりよい環境づくりにつとめる」という理念の下で実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・常時、日々の業務の中での話し合いを持ち、重要と思われる案件はミーティングで協議、確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・代表者、管理者共、これまで自治会の役員に携わり、今も相談や運営などに関わり地域とのつながりは深い。別館を開放して行事交流に努め、子どもも含めた地域との双方向の関係作りに積極的である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価は管理者が職員と話し合いながらまとめた。職員は、日々の業務を振り返る貴重な機会となった。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・地区の民生委員やボランティア、地域包括支援センターの職員、家族代表等が出席している。ホームからは動向報告、新職員の紹介、家族からは利用者の様子や対応の意見が出され、意見交換の場として活用している。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・管理者はホームの行事報告や利用者の手作り作品を届け、近況報告をしている。利用者同行での訪問報告も積極的に行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・事務手続きと一緒に、利用者個々の日常の様子を、こまめに写真を撮って毎月報告している。日々の体調面等の変化や相談は随時電話している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族来訪時には、居室で一緒にくつろいでもらう時間を十分にとり、その後要望や意見等を聞かせていただくようお願いしている。</p>		<p>・今後、家族会のような家族間の交流ができる機会づくりを検討されてはどうか。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・異動は無い。ホームは代表者、管理者の自宅であり、職員への配慮にも努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・外部研修は積極的参加とはいえないが、少人数であり内部での勉強会や日々の現場での学習は、随時行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・市担当課が、市内同業者ネットワークづくりに向けて準備中である。個別に他市の事業所との交流はしている。</p>		<p>・職員も含めた交流の機会となることを期待したい。</p>
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・体験入所により、利用者の意思や様子を見極め、他の利用者や職員との関係性に配慮しつつ対応している。家族の協力も得ている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・利用者本人の意思を大事にしつつ、職員ともども支え合っていけるような声かけに努めている。共に笑い、喜び、感嘆できるような関係に近づけることを目指している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・利用者に寄り添い、素直なそのままの気持ちを言葉や態度などで表わしてもらうような声かけに努めている。ちょっとした表情やしぐさなどを見逃さない観察に努め対応している。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・日々接している職員の意見を基に、看護師や主治医と相談しながら計画作成者が作成している。家族には報告同意を得よう努めている。</p>		<p>・本人の意向がより反映された計画となるよう期待したい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・定期は6ヶ月、必要に応じて3ヶ月、随時に見直している。利用者の心身状態の変化には時間を置いて見直すなど、日々の観察を重視している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・協力医の往診や訪問看護師の健康管理で誤嚥性肺炎等早期発見ができています。事業所の別館で幼稚園児や地域住民とふれあい会を持ち交流している。介護方法の講義や相談支援も地域で行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・2週間毎に協力医の往診がある。協力医以外のかかりつけ医の受診は原則家族が行なう。受診時、ホームでの状態と訪問看護師の報告等を家族に知らせている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・契約時、看取りの方針について説明し同意を得ている。事業所としては可能な限り対応したいが、常時の付き添いは他の利用者との関係で難しいかもしれないと考えている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・個人情報の保護については職員から入職時、誓約書を取っている。ケアにおいては羞恥心へ配慮し、言葉がけは「～しましょうか」「～しましょうね」と一方的でなく同意を得るよう心掛けている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・スケジュールはなく、その日の利用者の気分や天候で予定を立てている。利用者は全部女性で、譲り合い協調的である。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・食材は自家栽培、近所からのもらい物、送られてくる物と変化に富んでいる。メニューは管理者が考え、利用者は職員と一緒に、下ごしらえや盛り付け、後片付けをしている。食事中は調理方法や味付け等を話題ににぎやかである。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・曜日と時間帯を決めている。他の曜日の希望はない。月一回小野市の温泉（福祉風呂）に行っている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・紅白の玉入れの玉を作って幼稚園に寄付したり、リース作りやトイレ、洗面所で使うペーパータオルたたみ、地域の花壇の水遣り等の役割を持ち、温泉、外食等の楽しみ、気晴らしの支援がなされている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・近所の公園、花壇、別館まで出掛ける。買物は車で行く。出かけるときは皆一緒に行動する。毎日ベランダで外気浴もしている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・日中は施錠していない。近所の方からの声かけや連絡してもらえる関係を築いている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・消防署の指導のもと年3回避難訓練をしている。自動通報装置も設置している。</p>		<p>・避難訓練にも近所の方の参加、協力を得てはどうか。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・栄養摂取は体重と検査結果を参考にしている。食事は全員完食。水分量は湯のみ何倍かを目安にして把握、必要に応じてペットボトルを居室に置いている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・夏場は苦瓜や朝顔をはわせて日よけに配慮している。ベランダの椅子に座って少人数でくつろいでいる。花や熱帯魚が共有スペースに潤いを与えている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・馴染みの品の持ち込みはあまり多くないが、仏壇を持ち込んで毎日ご飯をお供えし拝んでいる利用者もいる。事業所作成の個人ごとのアルバムを各自の居室に置いてある。</p>		

 は、重点項目。